

冬よ、つづけ。

Toward the Next 100

凡例

ゴンドラ	上級者コース	ナイター
リフト	中級者コース	パトロール
遊ロード(動く歩道)	初級者コース	AED
公衆電話	ポール(要予約)	ジップスカイライド
チケットセンター	コース	インフォメーション
WC	アクセスポイント	スキースクール
	トイレ	駐車場
		ソリゲレンデ (キップスパーク・レストハウスやまびこ横)
		レンタル

スキー場区域外(バックカントリー)へアクセスする場合は、毛無山頂に設置してある「アクセスポイント1△又は△」の扉を通過してください。※小雪時には、設置しておりません。※規制ロープを潜る行為は禁止されています。



滑走可能用具

スキー Ski	スノーボード Snowboard	スノースクート Snowscoot	スノーフィート Snowfeet
スノーモト Snowmoto	エアーボード Air board	セパレートスノーボード Separate snowboards	スノースケート Snowskate

上記滑走具以外はソリ専用ゲレンデ及びキップスパークでお楽しみください。

※リーシュコードは必ず装着ください。※表示滑走具以外はリフトに搭乗できません。

※スノーシューズは長坂ゴンドラリフト、日影ゴンドラリフト、上ノ平ゴンドラリフトのみ乗車可能です。

スキー場利用規則

- 他人を怪けたり、おびやかしたりしてはならない
 - 地形・天候・雪質・技能・体調・混雑等の状況に合わせてスキー場をコントロールし、いつでも危険を避けるために止まるよう、滑り方を選ばなければならぬ。
 - 前にいる人の滑走を妨害してはならない。
 - 追い越すときは、その人の間隔を十分にあけなければならぬ。
 - 滑り出すとき、合流するとき、斜面を横切るときは、上をよく見て安全を確めなければならない。
 - コースの中で座り込んではならない。せまい所や上から見通せない所では立ち止まることも慎まなければならない。転んだときは、すぐやくースをあけなければならぬ。
 - 登るとき、歩くときは、止まるときは、コースの端を利用しなければならない。
 - スキーやボードには、流れ止めをつけなければならない。
 - 掲示・標識・場内放送等の注意を守り、スキーバトル・スキー場係員の指示に従わなければならぬ。
 - 事故にあったときは救助活動に協力し、当事者・自警者を問わず費用を明かにしないければならない。
- 一般財団法人 日本国際交通協会
■公益財団法人 日本スキー連盟
■公益社団法人 日本プロスキー教師協会
■日本スノーボード協会

リフト利用時の注意

- あなたの行動は、あなた他の利用者全員の安全に関わっています。リフトの利用にあたっては、責任と義務がともないます。次のことを守ってください。
- <乗車時>
- リフト利用に不安な方は、申し出下さい。
 - 「ルール」の表示位置にスキー、ボードを直しく前に向けて待機してください。
 - 乗りこねたら、直ぐにリフトから離れてください。
 - スキー者は、スティックに隣の人の迷惑にならないよう注意してください。
 - リュック等にビザの色、衣服等のヒモにも注意してください。
 - ボーダーは、流れ止めをつけ、ハイバックをしたままでください。
- <乗車中>
- セフティバーを下ろし、深く腰をかけてください。
 - 乗っている時は、次のことを行わないでください。
 - イスを握り固すこと。
 - イスから飛び降りること。
 - イスの上にさがれたり、後ろを向いたりすること。
 - ストップ等で柱などにさわること。
 - リフトが止まつても飛び降りないでください。
- <降車時>
- 「おりば」が近づいたら降りる準備をし、降りた後はまっすぐに進んでください。

